

令和 2 年度事業報告

令和 2 年 4 月 1 日から

令和 3 年 3 月 31 日まで

I 概 要

令和 2 年度も前年に引き続き、公益目的事業として、高齢者の社会参加を促進するため就業等の活動機会の確保・提供をする事業を実施致しましたが、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令され、予定していた事業ができず、厳しい一年となりました。

実績では、年度末会員数は、男性 218 名 女性 109 名、合計 327 名、前年度に比し、7 名の減少となりました。事業実績では、請負契約額 181,795,670 円前年度に比し 17,235,533 円減額、派遣事業 10,237,373 円、前年度に比し 153,044 円の減額となり、大幅に落ち込みました。新型コロナウイルス感染症がここまで影響するとは想像を絶する結果となりました。

コロナウイルス感染症の猛威の中、当センターから感染者を出さないよう万全な対策を取るとともに、職員・会員に対し、危機感を持つ事への周知をしてまいりました。その結果、当センターの職員・会員から 1 人も感染者を出すことなく緊張感の中、令和 2 年度も無事に終わることができました。令和 3 年度も引き続き感染対策に取り組んでまいります。

また、コロナ禍において、最先端で戦っている「医療従事者」の方々に対しお礼と感謝の気持ちを込め募金活動を行いました。募金総額は 100,000 円となり「羽生市医師会」へお渡しいたしました。募金にご協力いただいた会員・役職員には心から御礼申し上げます。

以下、主な事業の成果についてご報告いたします。

(1) 会員の増強

市広報紙・回覧板・ポスターの掲示・県連合による新聞記事での PR 等により、例年に増して多くの入会希望者が随時面談に訪れ、26 名の会員登録手続きを行いました。

コロナ禍の中で密を避けるため、シルバーまつりも中止となり、ひまわり倶楽部主催の数々の事業・イベント等もすべて中止となりました。

また、市及び県が主催するイベントが中止となり、会員募集の周知ができませんでした。

(2) シルバー活動の周知と派遣事業の拡大

ひまわり通信を年 7 回発行し、理事会の承認事項、就業活動写真の紹介・コメント等を掲載し情報発信を行いました。

派遣開拓員による会社訪問、チラシのポスティング等を行い、派遣先の拡大に努め派遣先 2 社増加しました。

(3) 新規事業(フレイル対策等)への取り組み

フレイル事業は会員に呼びかけ、「フレイルサポーター養成研修」「体力測定員」になる為の研修を予定しておりましたが、コロナ禍の中、参加を躊躇された会員が多く、次年度へ持ち越しとなりました。

また、羽生市からの委託を受けて「タデ藍管理業務」を行いました。当センターも初めての試みでありましたが、今後も事業が継続される見込みです。

また、空き家・空き地(草刈り)・墓地清掃は年々仕事の発注が増え、今後これらの方々の増加が見込まれます。

(4) 将来に向けた事業基盤及び事務局体制

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、中・長期計画作成を見送りました。また、今までの 5 つの委員会を 3 つの委員会に編成替えし、活動を開始いたしました。事務所の老朽化に伴い、新築するための費用として、特定費用準備資金 3 百万円の積立を行いました。今後は就業先の開拓や派遣事業の拡大を行い、安定した会員の就業確保に努めてまいります。

(5) 安全適正就業の推進・就業における法令遵守と非行防止

安全就業を目的とした「草刈安全講習会」を 10 月 21 日実施し、38 名の参加がありました。

また、安全適正就業推進委員会により 7 月～8 月の夏季期間、熱中症予防及び就業状態の確認のため巡回指導を 9 回実施し、就業現場 37 箇所を巡回を行いました。目的とした、就業現場パトロールを実施いたしました。

また、県連合の顧問弁護士による法律に則した講習会及び健康維持等の各種講演会を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止となりました。

(6) ボランティア活動の実施

地域で親しまれるシルバー事業の推進を図るため、7 月 2 日・3 日に羽生市役所松等の剪定のボランティア活動(参加者 22 名)及び街なか清掃のボランティア活動(参加者 53 名)を行いました。

新たな取り組みとしての市内福祉施設へのボランティア活動は新型コロナウイルス感染症のため、実施できませんでした。